


# 欧州景気概況 (2021年5月)

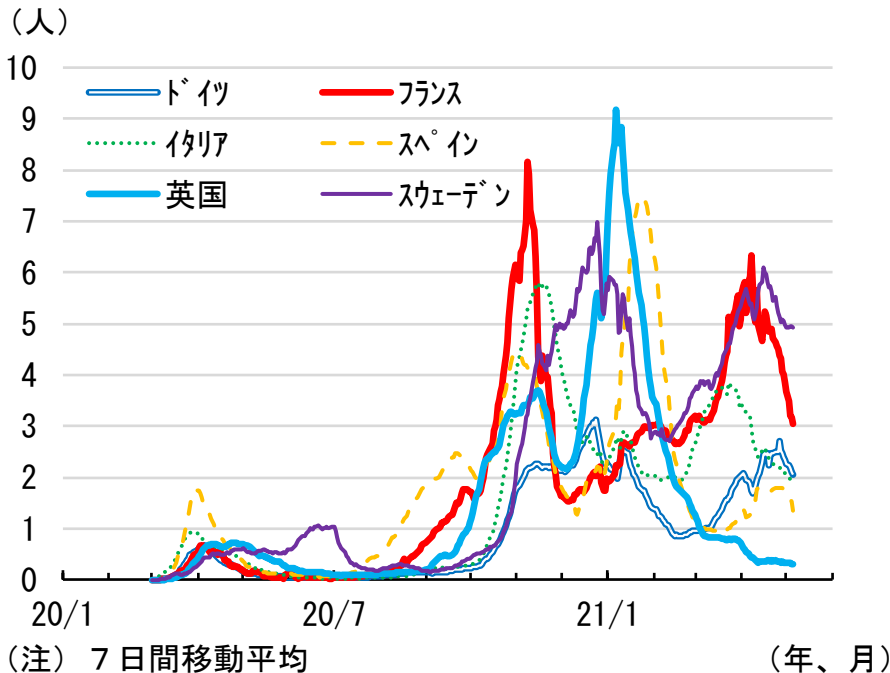


副主任研究員 土田陽介 tel: 03-6733-1628  
mail: [chosa-report@murc.jp](mailto:chosa-report@murc.jp)

# 新型コロナウイルスの感染状況

欧州における新型コロナウイルスの感染状況は、英国で感染者数が順調に減少しており、また多くの国でも感染がピークアウトしている。各国はワクチン接種を進めている一方で、段階的な緩和を模索している。イタリアでは5月中旬から独自のワクチンパスポート(グリーンパス)を発行する動きもある。

人口一人当たりの新規感染者数



(出所) 欧州連合統計局(ユーロスタット)及び英国民保健サービス(NHS)、国際保健機関(WHO)

主要国の行動制限の概要

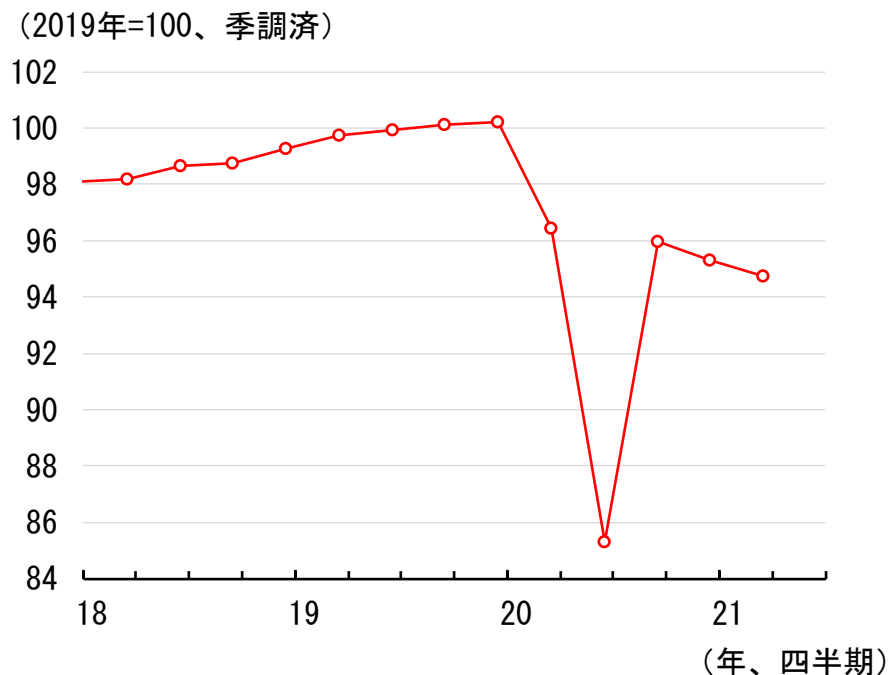
国名	内容
ドイツ	過去7日間の人口10万人あたりの新規感染者数が5日連続で100人を下回った場合、非常ブレーキ措置(娯楽施設の閉鎖、飲食店の店内での飲食禁止、観光目的での宿泊禁止など)を解除する方針。
フランス	学校での対面授業再開(4/26)。日中の外出制限廃止(5/2、夜間(19h-6h)は継続)半径10km以内の移動制限の解除(5/3)。5月半ばから小売店の営業、飲食店の屋外での営業を再開予定。
イタリア	一部州を除き移動制限を解除(4/26)。飲食店の屋外での飲食許可(4/26、6/1より5h-18hまでの店内飲食も再開予定)。屋外スポーツの再開(4/26、5/15よりプール、6/1よりジム営業再開)、グリーンパス導入予定。
英国	段階的緩和のステップ2に移行(4/12)、ステップ3ではさらなる規制緩和に海外旅行の一部再開予定(5/17)、ステップ4では1メートル強の社会的距離ルール廃止予定し、経済活動正常化へ(6/21)。

(出所) 各種報道

## ユーロ圏景気概況① 景気は悪化している

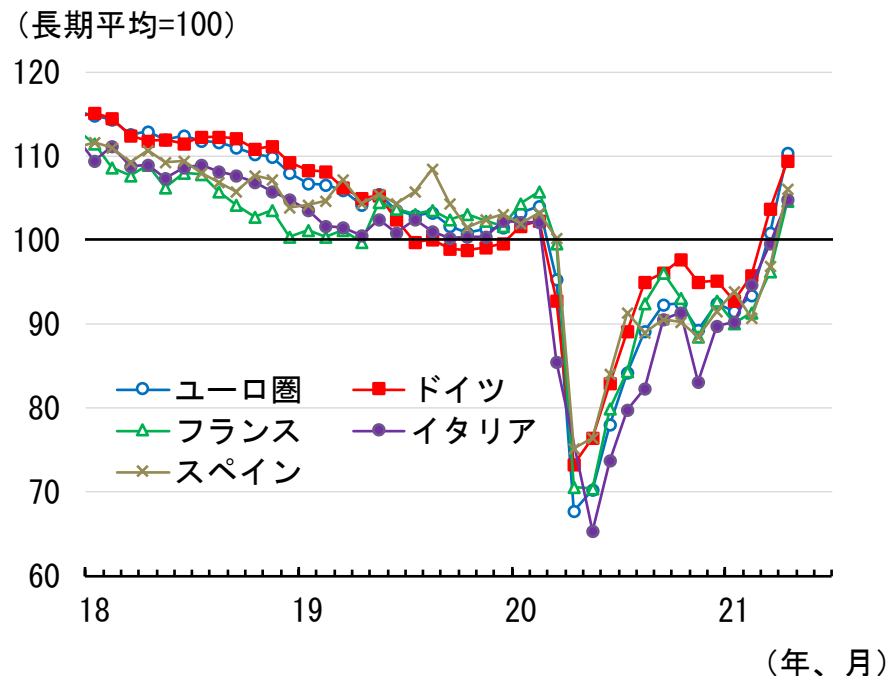
ユーロ圏の2021年1-3月期の実質GDP(速報値)は前期比-0.6%と2期連続でマイナス成長となり、景気後退に陥った。一方で最新4月の景況感指数は110.3と3ヶ月連続で上昇、輸出に支えられた製造業が景気回復のけん引役となっている。また5月以降は行動制限が緩和されるため、4-6月期はプラス成長に転じる見込み。

### 実質GDP



(出所) 欧州連合統計局(ユーロスタット)

### 景況感指数

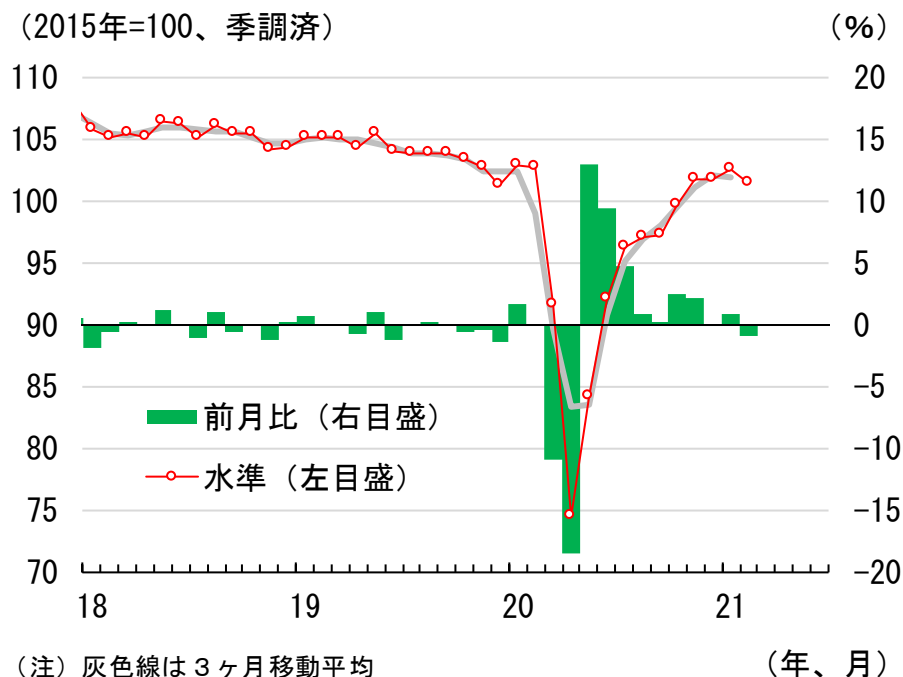


(出所) 欧州委員会ECFIN

## ユーロ圏景気概況② 生産は頭打ち

ユーロ圏の2月の鉱工業生産は前月比+1.0%と再び減少、均した動きは頭打ちとなっている。行動制限の強化を受け内需向けの生産が低迷し、さらに米中向け輸出にけん引された外需向けの生産も一服した模様。またドイツの4月のIfo景況感指数は96.8と上昇が続いた。将来指数が低下した一方、現況指数が上昇した。

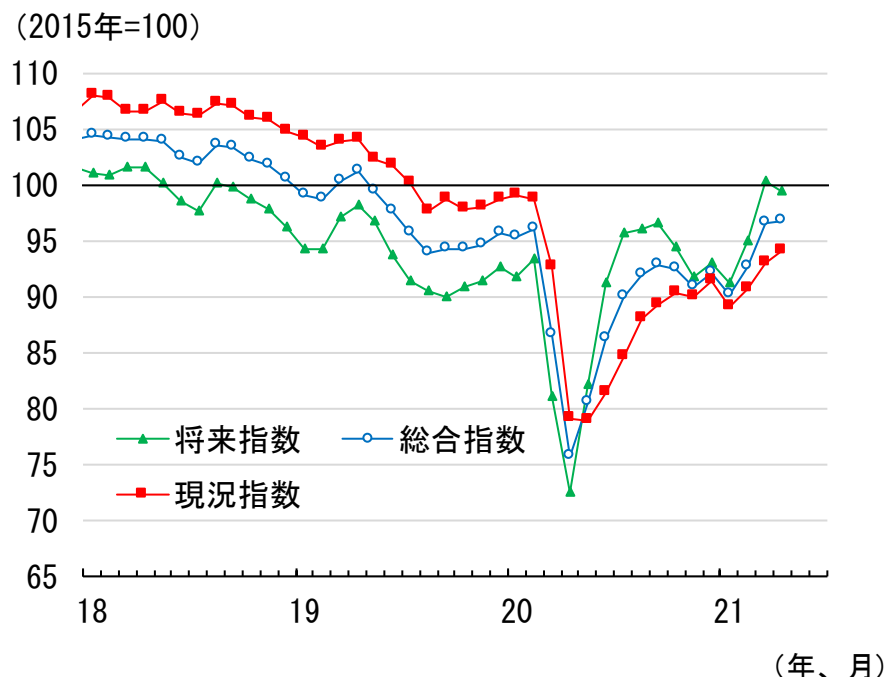
### 鉱工業生産



(注) 灰色線は3ヶ月移動平均

(出所) ユーロスタット

### Ifo企業景況感指数

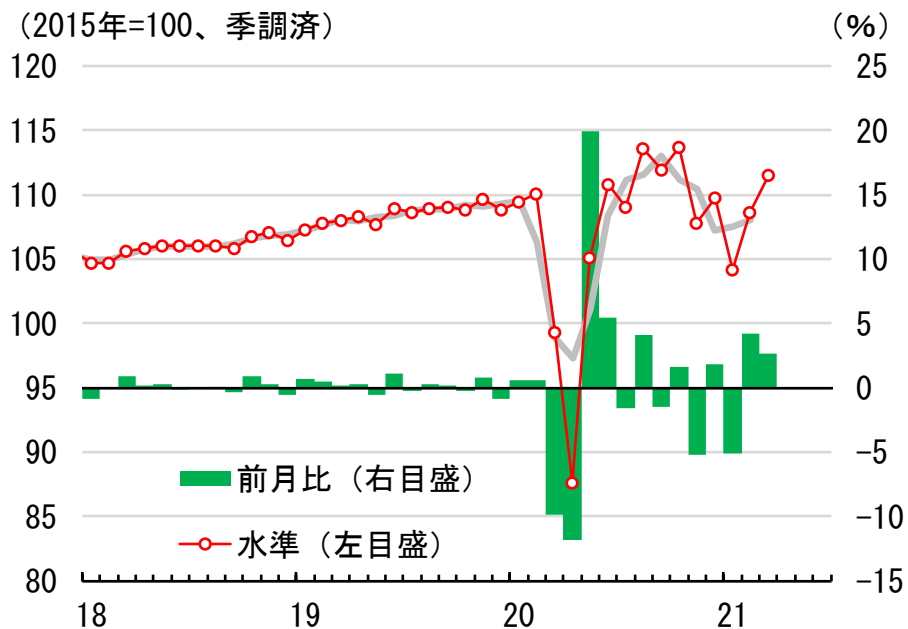


(出所) Ifo研究所

## ユーロ圏景気概況③ 消費は悪化している

ユーロ圏の3月の小売数量は前月比+2.7%と2月(同+4.2%)から増勢が鈍化したものの、均した動きは底打ちした。一方で同月の新車販売台数は前月比+0.2%の年率842万台と、低迷が続く。新型コロナウイルスの感染拡大に伴う行動制限の強化を受けて、個人消費は悪化を余儀なくされている模様。

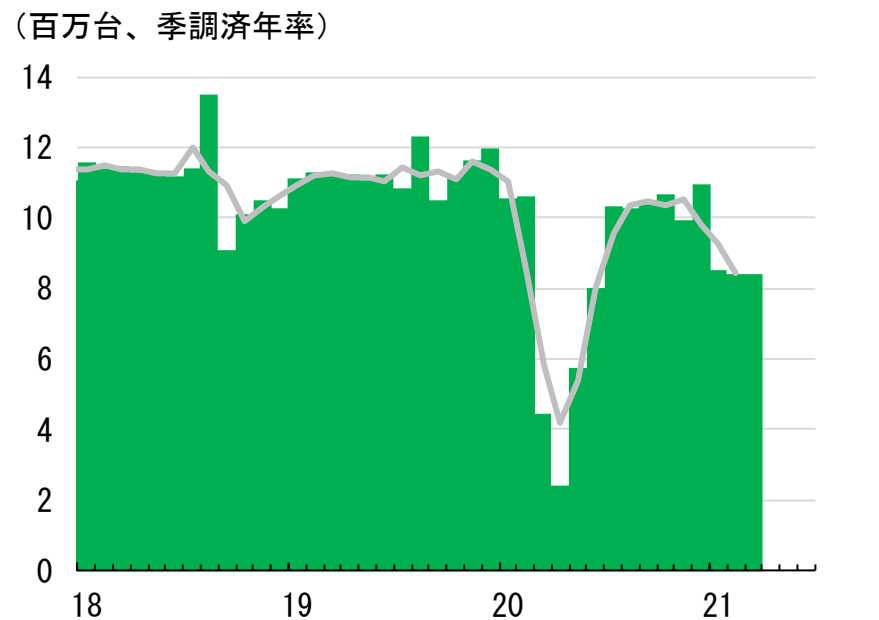
### 小売数量



(注) 灰色線は3ヶ月移動平均

(出所) ユーロスタット

### 新車販売台数



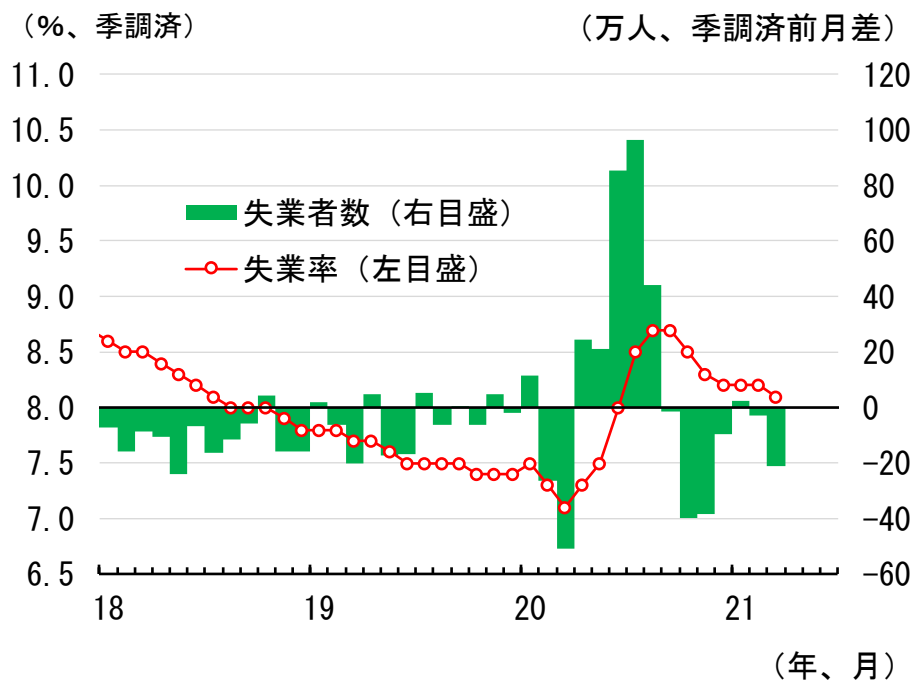
(注) 灰色線は3ヶ月移動平均

(出所) 欧州中央銀行 (ECB)

## ユーロ圏景気概況④ 雇用情勢は緩やかに回復

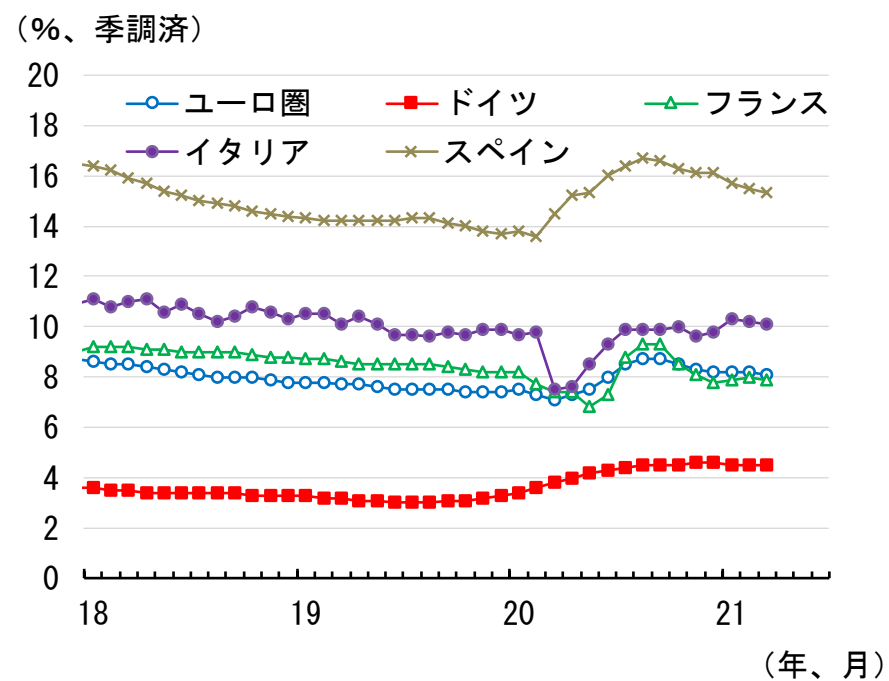
ユーロ圏の3月の雇用統計では、失業率が8.1%と4ヶ月ぶりに低下、失業者数が前月比20.9万人減と2ヶ月連続で減少した。主要国別に失業率を見ると、ドイツやフランスの失業率は一進一退となっているが、イタリアやスペインの失業率は緩やかなテンポで低下している。

### 失業率と失業者数



(出所)ユーロスタット

### 主要国別失業率

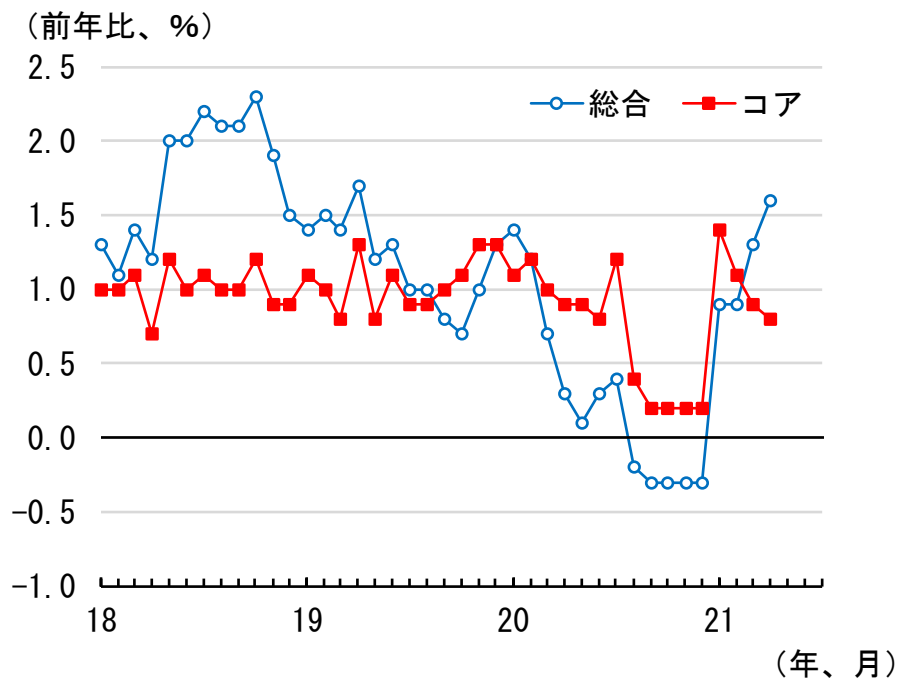


(出所)ユーロスタット

## ユーロ圏景気概況⑤ 物価はインフレが加速している

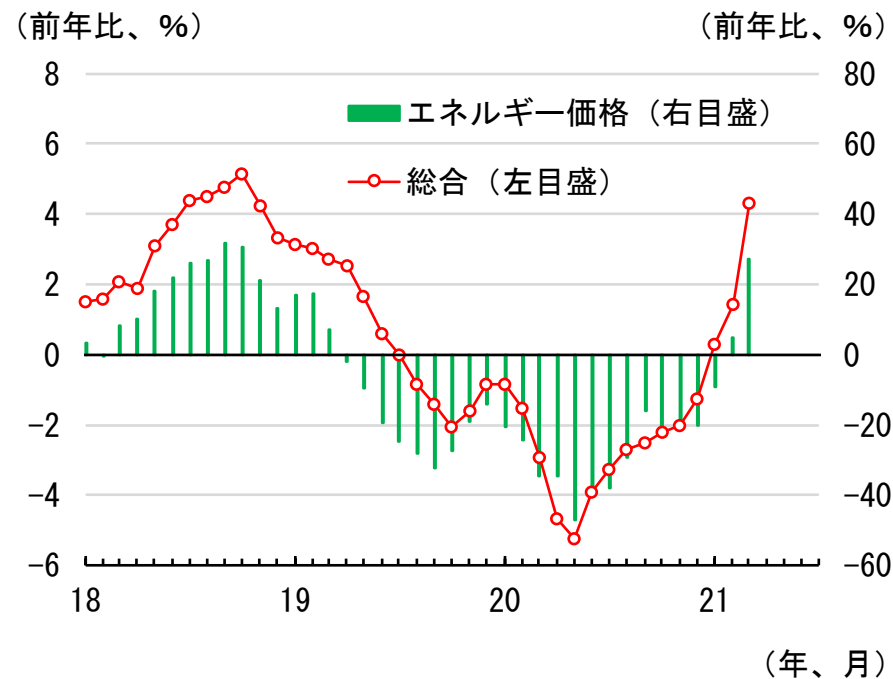
ユーロ圏の4月の消費者物価は総合指数が前年比+1.6%と伸び率を高めた。ドイツで減税措置が終了したことやエネルギー価格の上昇が、物価を押し上げた。先行指標になる生産者物価は3月時点で前年比+4.3%と、上昇幅の拡大が続いている。

### 消費者物価



(出所)ユーロスタット

### 生産者物価



(出所)ユーロスタット

## ユーロ圏景気概況⑥ ECBは既往の金融緩和パッケージを維持

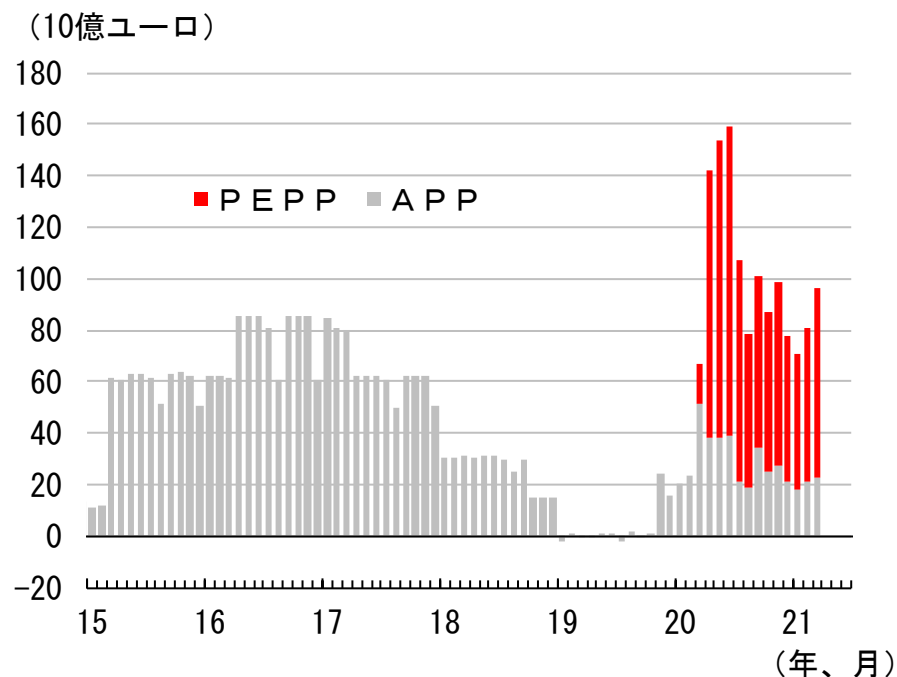
欧州中央銀行(ECB)は4月22日の政策理事会で既往の金融緩和パッケージを維持。ラガルド総裁は会見で、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う行動制限の強化を受けて1-3月期の実質GDPが再びマイナスになったものの、行動制限の緩和を受けて4-6月期は再びプラスになるという見通しを示した(次回理事会は6月10日)。

### ECBの金融緩和パッケージ

ECBの2020年12月理事会での決定の概要	
政策金利の据え置き	主要政策金利を既往の年0.00%に、また貸出金利を年0.25%に、預金金利を年-0.50%にそれぞれ据え置き。
資産購入策の強化	危機対応策であるパンデミック緊急対応プログラム(PEPP)での資産購入額を5,000億ユーロ増額して総額1兆8,500億ユーロに拡大。また期間を9ヶ月延ばして22年3月まで延長。再投資の期間も少なくとも23年末まで1年延長。 既往の資産購入プログラム(APP)は月額200億ユーロでの購入をオープンエンド型で継続。
資金供給策の強化	危機対応策であるパンデミック緊急リファイナンスオペ(PETLRO)を21年に4回追加 預金金利(現在▲0.50%)をさらに0.50%ポイント割り引いた水準(現状▲1.00%)で行う期間3年の資金供給策(TLTRO3)は22年6月まで期間延長。

(出所)欧州中央銀行(ECB)

### 資産購入の推移



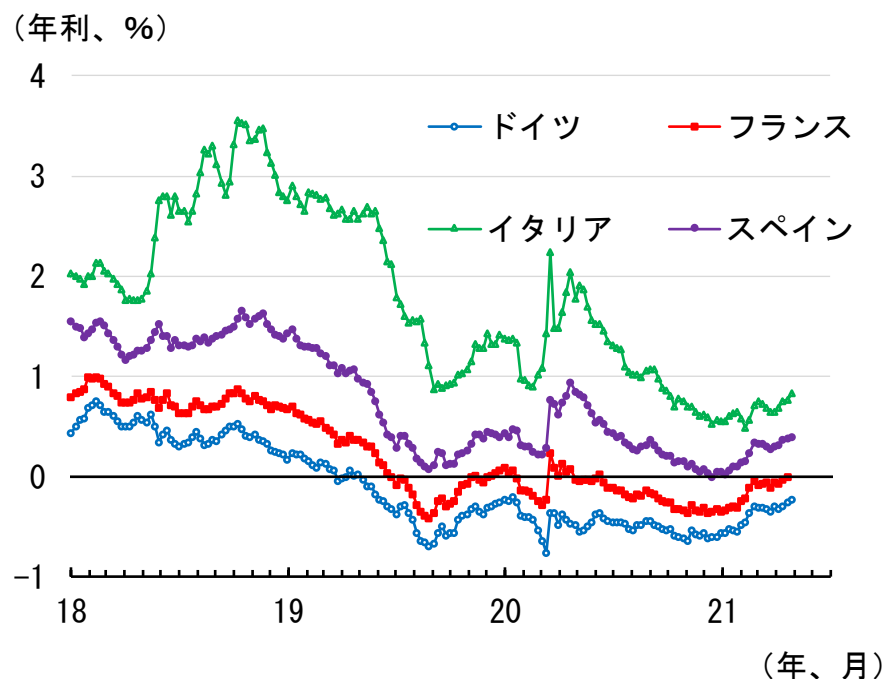
(出所)ECB



## ユーロ圏景気概況⑦ 金利は上昇、株価は一進一退

4月のユーロ圏の長期金利は緩やかに上昇した。欧米景気の回復期待が金利の押し上げ圧力になったが、ECBによる月次の資産購入の強化が金利の上昇を抑制した。一方で、株価(Eurostoxx50)は一進一退となった。好決算への期待感が相場を下支えした一方で、利益確定売りの動きが上値を抑えた。

### 長期金利



(出所)ECB

### 株価(Eurostoxx50)



(出所)STOXX

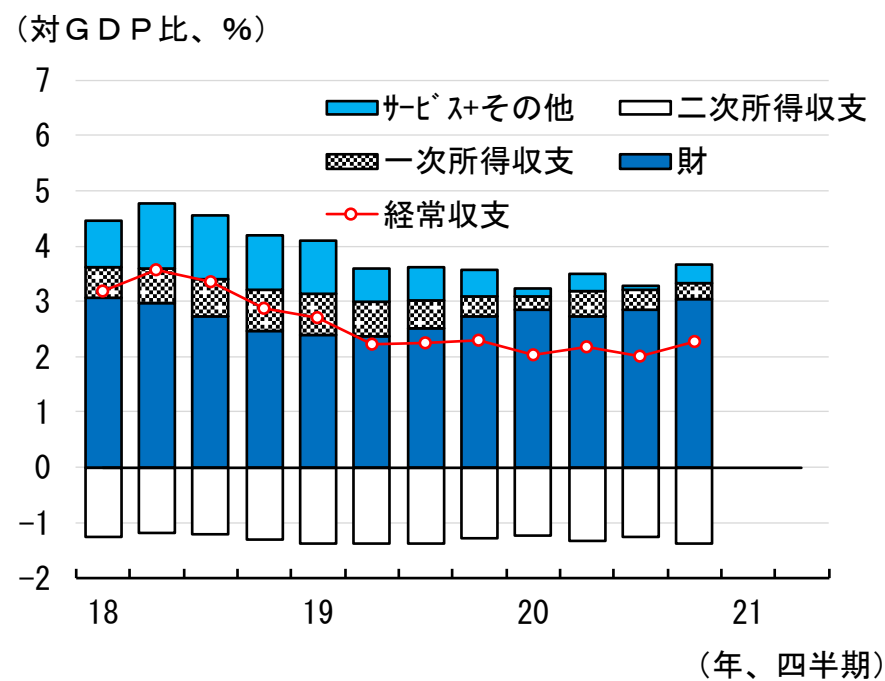
## ユーロ圏景気概況⑧ 対ドル・対円ともにユーロ高

4月のユーロ相場は対ドル・対円ともにユーロ高が進んだ。米国で金融緩和が長期化するという思惑からそれまでの世界的なドル高の流れが一服、ユーロが円以上に買い戻されることになった。国際収支をみると、輸出企業による実需買い圧力は堅調である。

### ユーロ相場



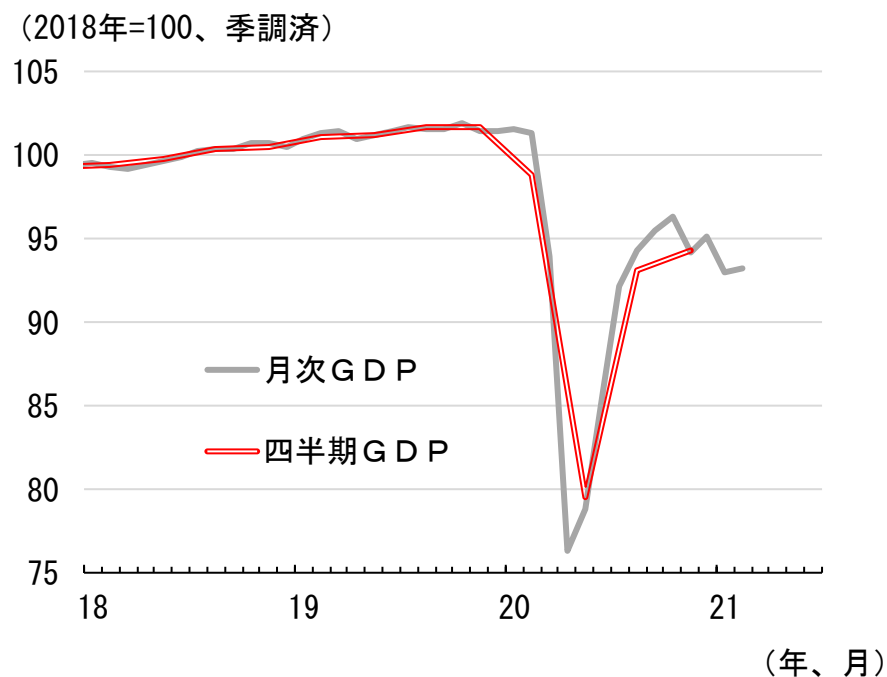
### 国際収支



# 英国景気概況① 景気は悪化している

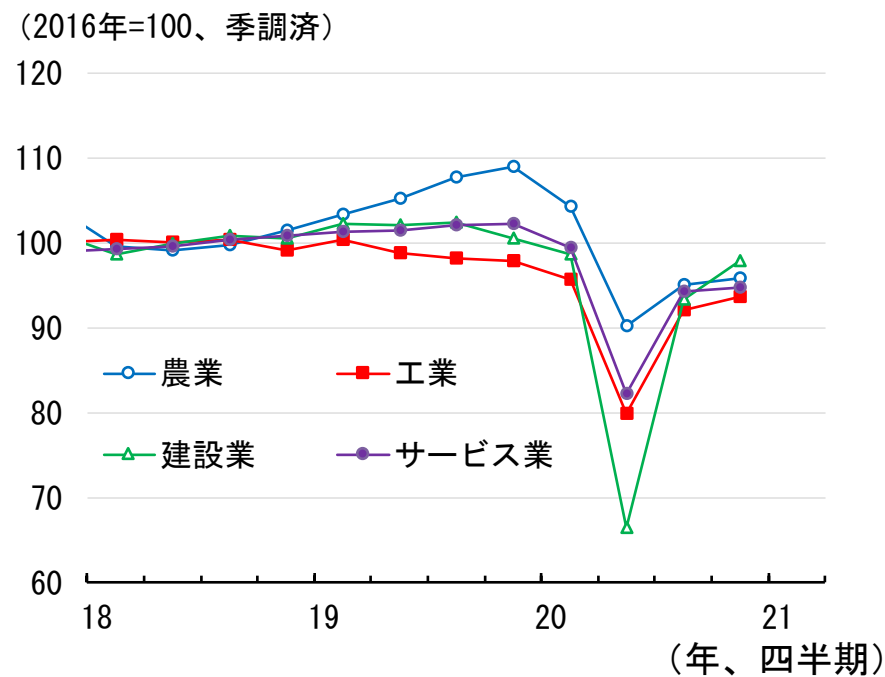
英国の2020年10-12月期の実質GDP(確定値)は前期比+1.3%と、2四半期連続でプラス成長を維持した。粗付加価値(GVA)を産業別にみると、建設業と鉱業は増勢が鈍化した一方で、サービス業と農業は横ばいだった。なお最新2021年2月の月次GDPは前月比+0.3%と再び増加したが、均した動きは下向きで推移している。

### 実質GDP



(出所)英国立統計局(ONS)

### 実質GVA(粗付加価値)

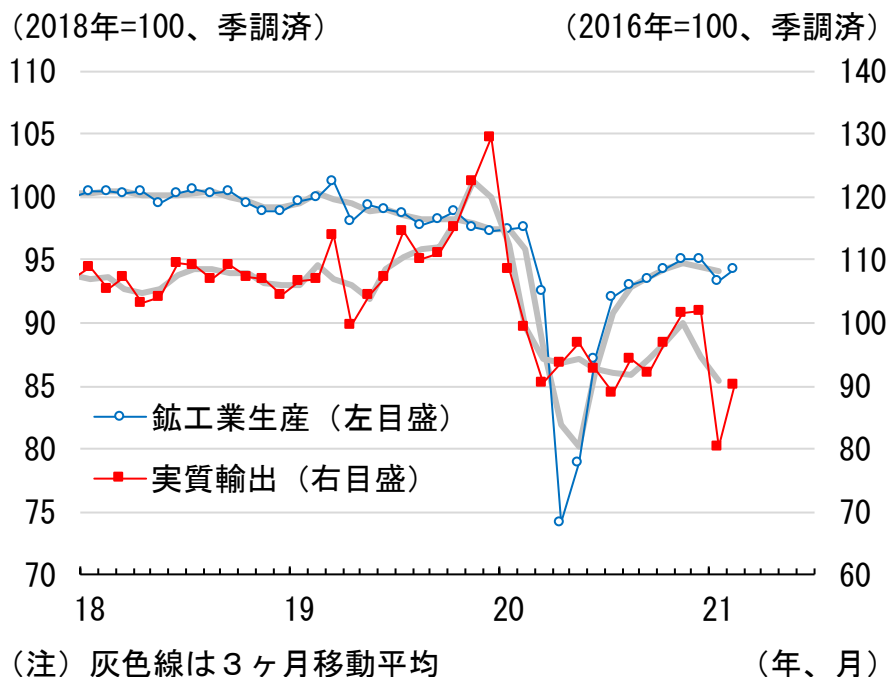


(出所)ONS

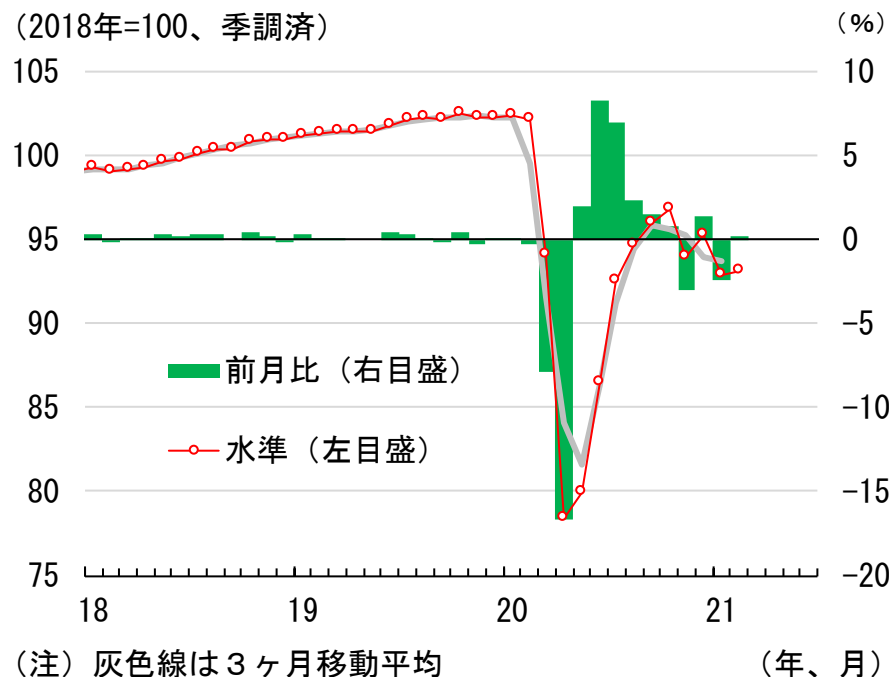
## 英国景気概況② 生産は頭打ち

英国の2月の鉱工業生産は前月比+1.0%と再び増加も、均した動きは頭打ちとなっている。また同月の実質輸出も同+12.2%と、前月(同-21.1%)の反動もあって高い伸び率となったが、減少基調で推移している。他方で、2月のサービス生産は前月比+0.2%と再び増加したが、減少基調で推移している

### 生産と輸出



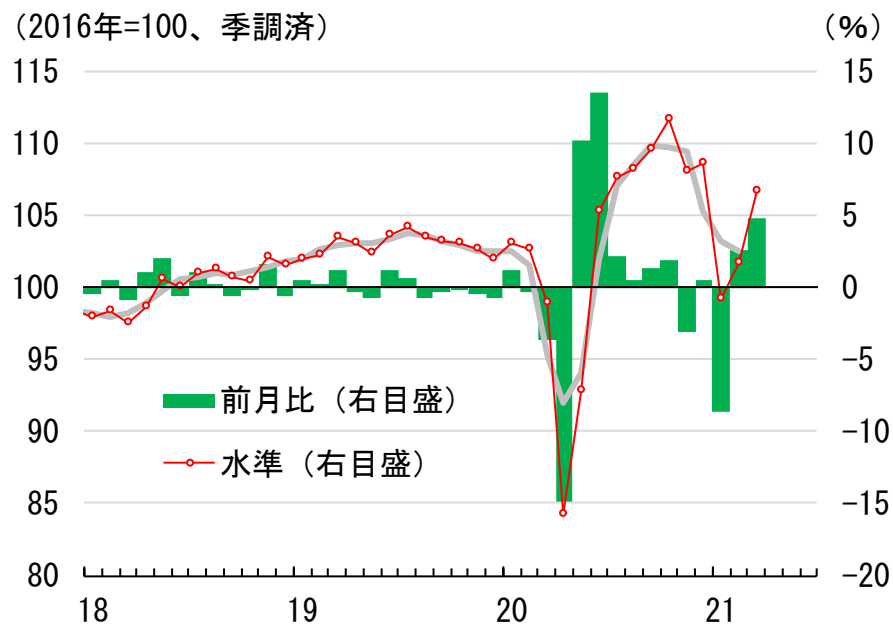
### サービス業生産



## 英国景気概況③ 消費は悪化している

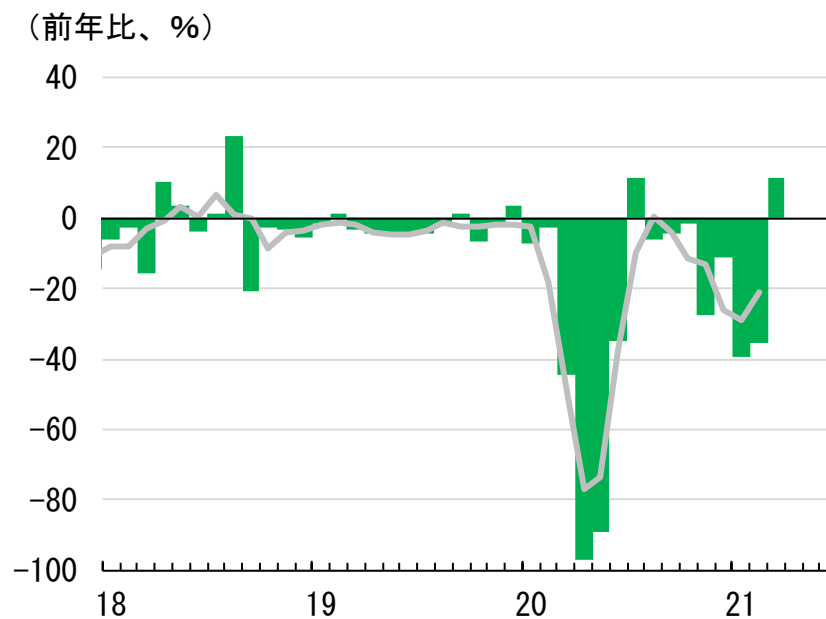
英国の3月の小売数量(除く石油)は前月比+4.8%と2ヶ月連続で増加したが、減少基調で推移している。また同月の新車販売台数(乗用車)は前年比+11.5%と20年7月以来のプラスに転じたが、均した動きは前年割れが定着している。新型コロナウイルスの感染拡大に伴う行動制限の強化が、消費を悪化させている。

### 小売数量(除く石油)



(注) 灰色線は3ヶ月移動平均 (年、月)  
(出所)ONS

### 新車販売台数(乗用車)

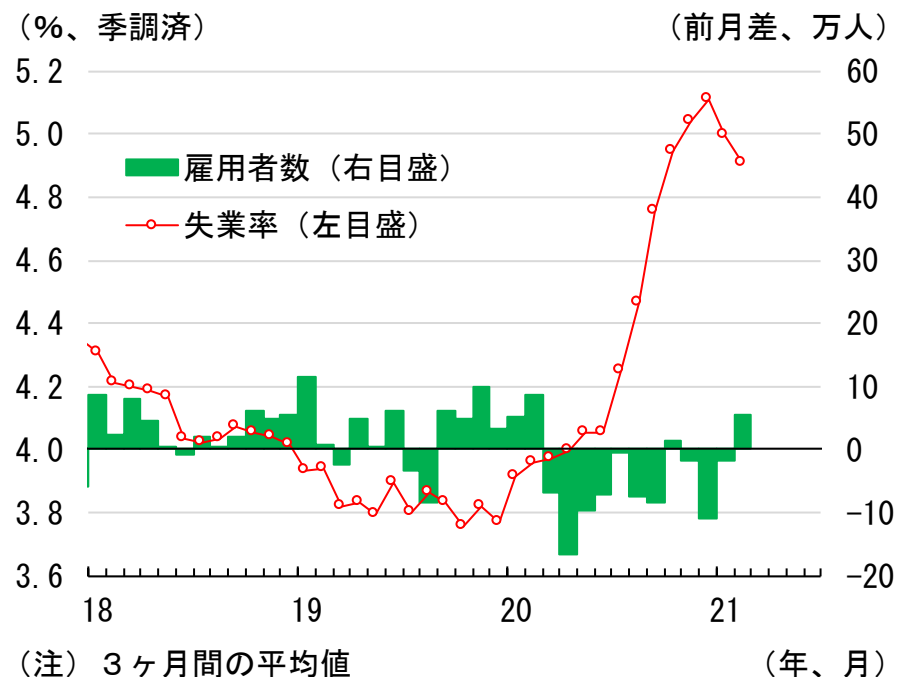


(注) 灰色線は3ヶ月移動平均 (年、月)  
(出所)ONS

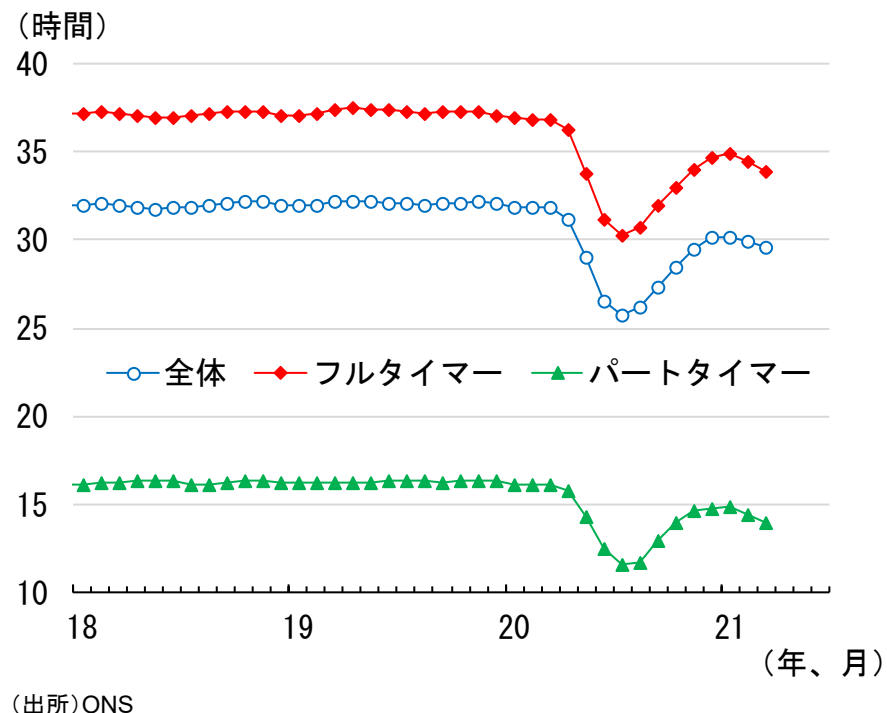
## 英国景気概況④ 雇用は改善している

英国の2月の雇用統計(3ヶ月後方移動平均)では、失業率は4.9%と2ヶ月連続で低下し、雇用者数も前月比+5.6万人と3ヶ月ぶりに増加した。新型コロナウイルスの感染拡大に伴う行動制限が春に緩和されることを見越して雇用は改善している模様。一方で平均労働時間は29.6時間と2ヶ月連続の減少、行動制限の強化を受けて労働時間が減少した。

### 雇用統計



### 平均労働時間

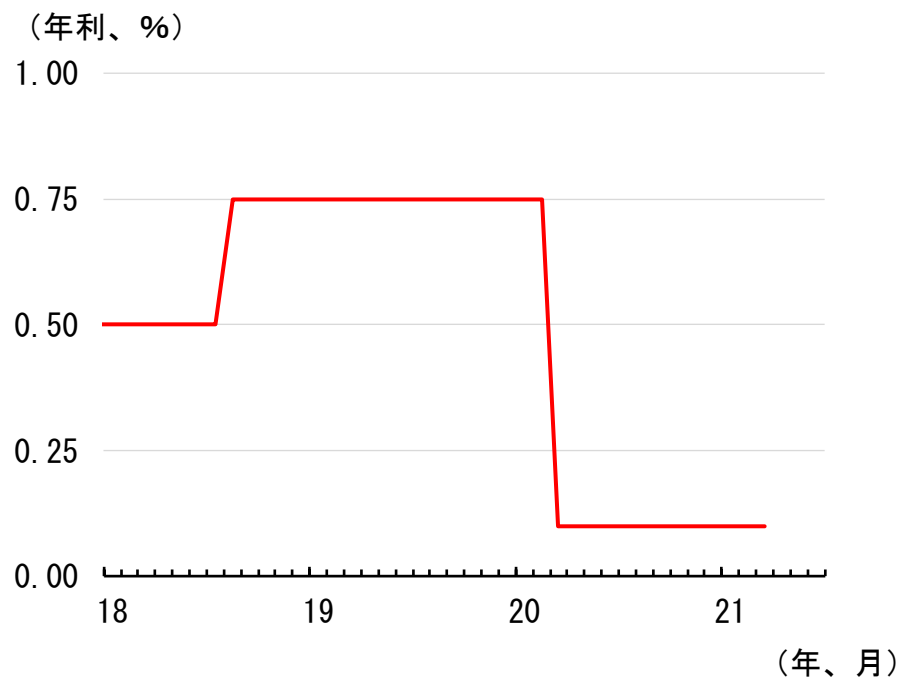




## 英国景気概況⑥ BOEは既往の金融緩和パッケージを維持

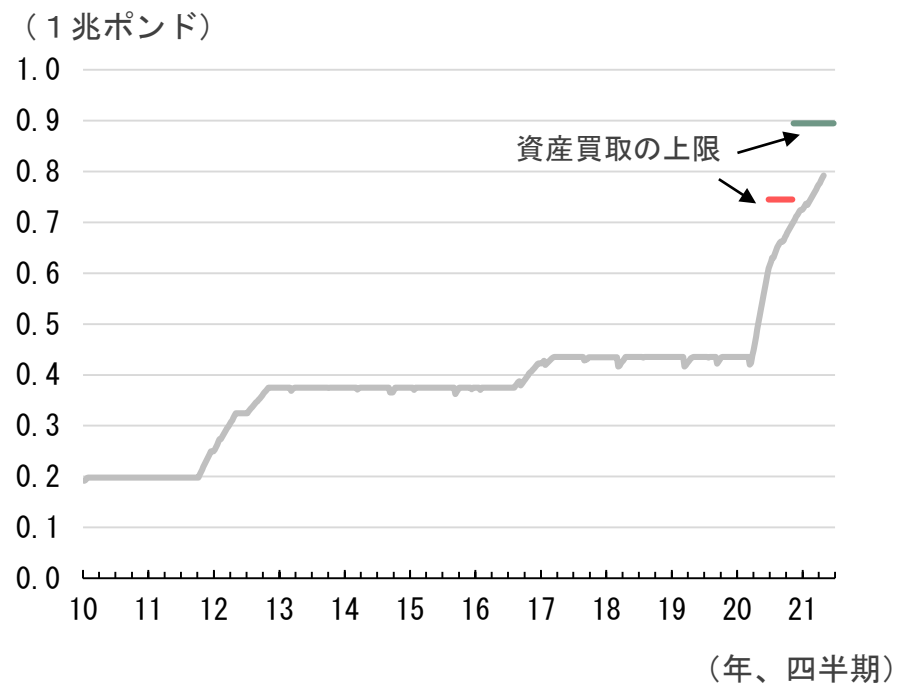
英中銀(BOE)は5月6日の金融政策委員会(MPC)で既往の金融緩和パッケージを維持し、政策金利(バンクレート)を0.10%に、資産買取プログラムの規模を8,950億ポンドにそれぞれ据え置いた。同時にBOEは、今後の景気回復テンポが速いと想定されることから、今月以降、資産買取のペースを鈍化させると発表した(次回MPCは6月24日)。

### 政策金利(バンクレート)



(出所)イングランド銀行(BOE)

### 英中銀の国債保有高



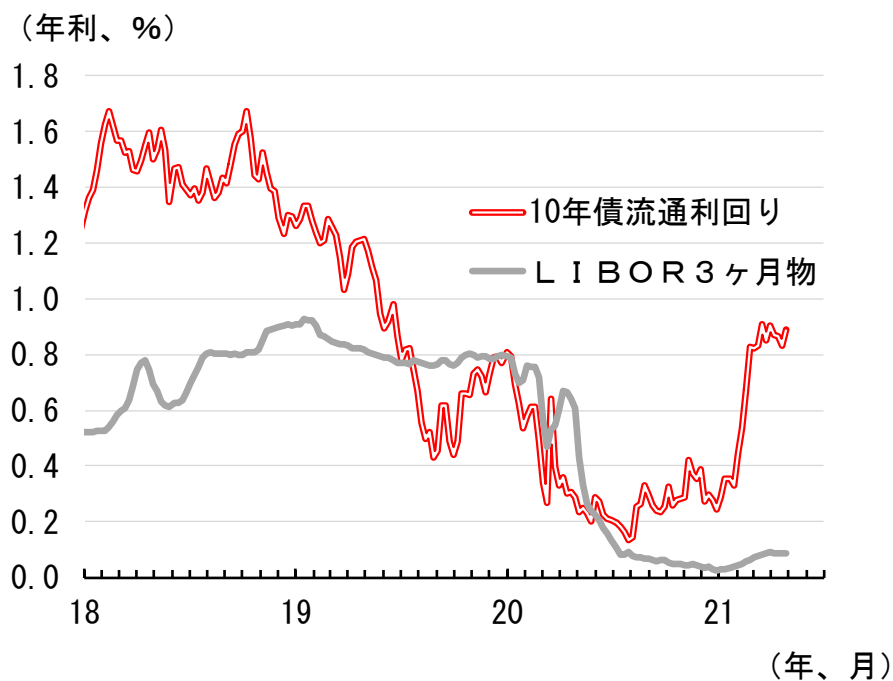
(出所)BOE



## 英国景気概況⑦ 長期金利は上昇、株価も上昇

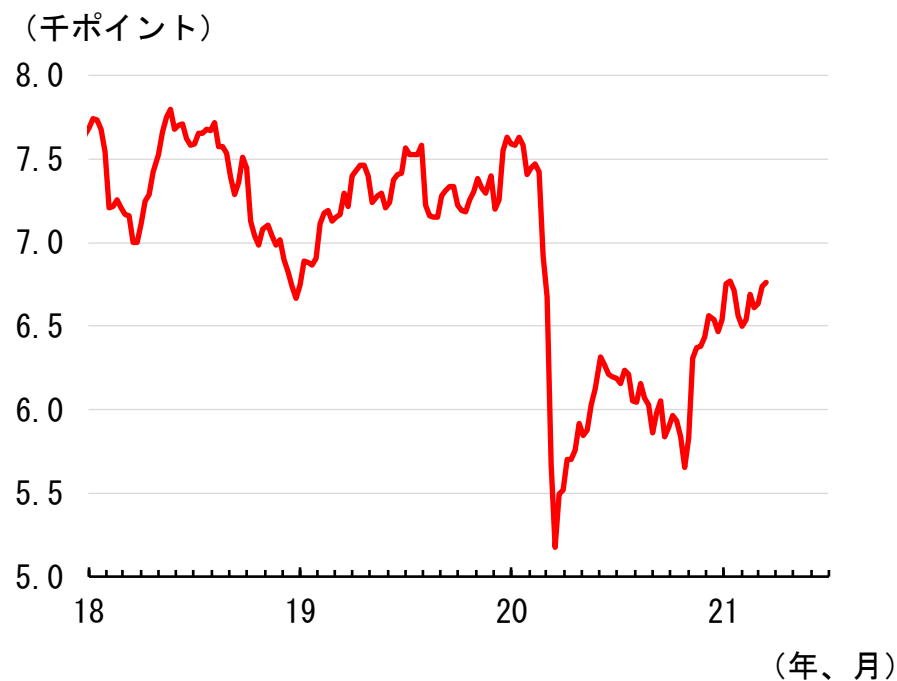
4月の英国の長期金利は上昇した。米金利の上昇に加えて、BOEの早期利下げ観測の後退などが材料になった。一方で株価は上昇が続いた。下旬には一時売りが先行したが、新型コロナの感染者数が減少する中で景気回復期待が高まり、幅広い銘柄に買いが入った。

### 金利



(出所)BOE

### 株価(FT100指数)

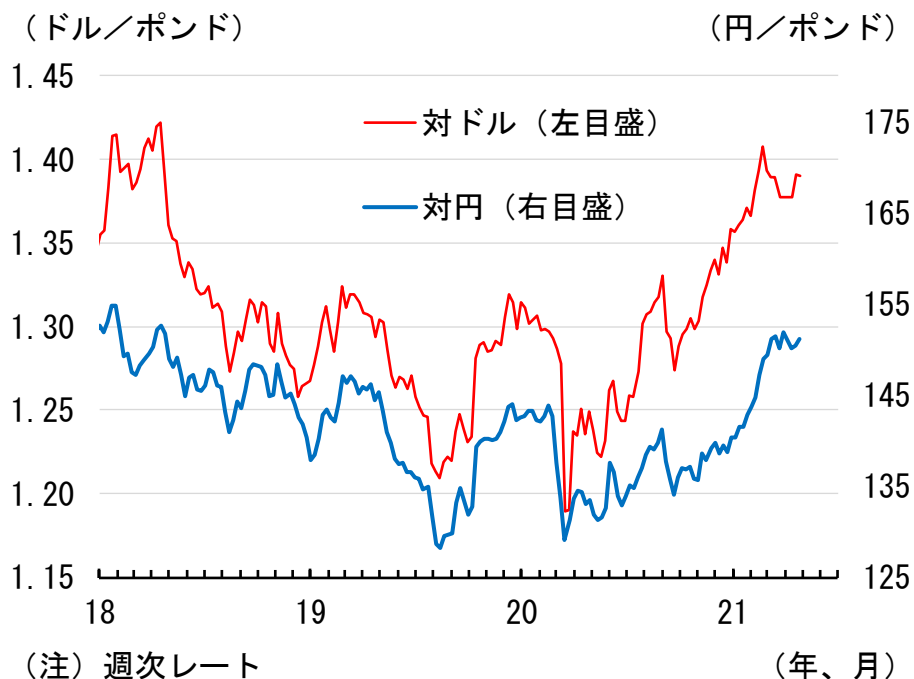


(出所)BOE

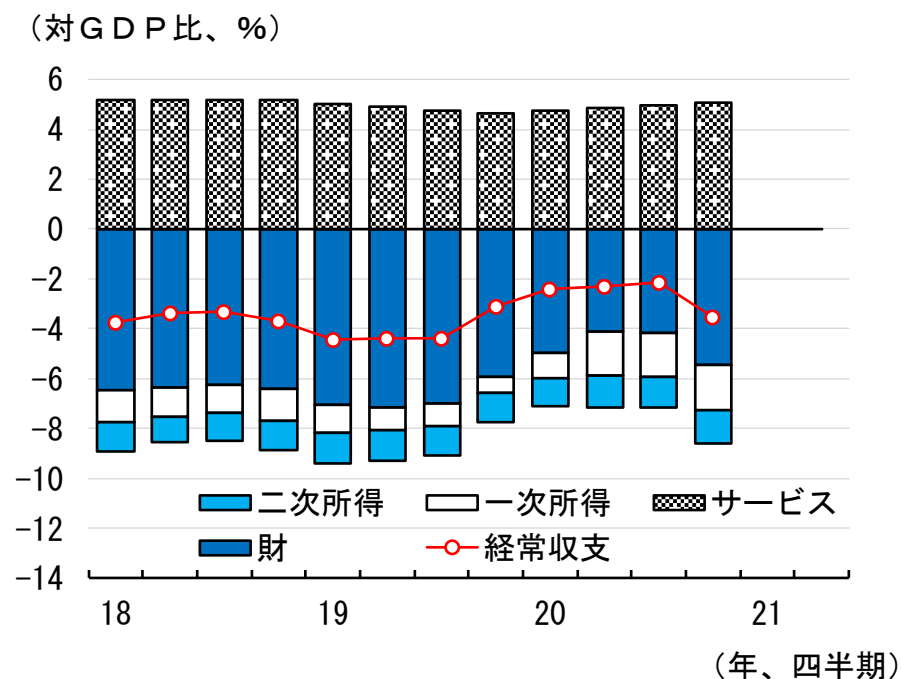
## 英国景気概況⑧ 対ドルで変わらず、対円でポンド安

4月のポンド相場は対ドルで変わらず、対円でポンド安となった。世界的なドル安の流れを受けて、ドルと同様に買われてきたポンドも売りが先行した。英国の経常収支は足元で赤字を拡大させつつあるが、実需以上に投機的需要がけん引役となるかたちでポンド高基調が定着している。

### ポンド相場



### 国際収支



- 
- 本資料は、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
  - また、本資料は、講演者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません。
  - 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
  - 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所：三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
  - 本資料の全部または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡下さい。